

# 湧愛

YOU &amp; I

編集・監修・発行

安曇野市男女共同参画推進会議

安曇野市男女共同参画コミュニケーター

安曇野市

事務局：安曇野市人権男女共同参画課

電話：(0263) 71-2000(代)

FAX：(0263) 71-5155

## 【特集】“男女共同参画” = 座談会 =

今回は、市民4人の方々をお迎えし、“男女共同参画”をテーマとして座談会を開催しました。男女共同参画に対する思いや問題点、今後のあり方等について語っていただきました。

以下は、出席者が語られた内容の要旨を編集したものです。

出席者

区さん（市区長会役員）

民さん（民生児童委員協議会役員）

Jさん（JAあづみ理事）

Pさん（PTA連合会役員）

司会

「湧愛」編集委員長

### 男女共同参画の受け止め

- 同：男女共同参画基本法が1999年に成立してから、本年度で17年目に入り、市民の意識は、年々高まっています。最近、国や県、市で一億総活躍社会、女性活躍社会、子育て支援、医療・介護等を重要施策と位置づけ取り組んでいます。そこには男女共同参画と深く関わっていると思いますが、男女共同参画の受け止めについてお聞かせください。
- 区：確かに、性別による役割分業の歴史がありましたが、基本法を受けてその意識が変わってきました。しかし、まだまだ女性の皆さんが遠慮している風潮がありますが、いろいろな行事では女性の方が積極的だと感じられます。更に男女共同参画の認識が広がれば、女性の参画は確実に進むと思います。
- 同：男女共同参画とは、性別役割分業から男性も女性も全く同じことをするというのではなく、女性の力も活かすことです。
- J：戦後の農村女性は、家事、育児、農作業に身を粉にして働くことが、農家にとっての良い嫁でした。減反政策が始まり兼業農家が増え、社会情勢の変化等、大きな時代のうねりの中で、農家でも女性の出番が求められるようになりました。近年、人々が生命を育むための食糧が不安定になっています。その食料を支える農業が軽視され、更にTPP問題等により、危機を迎えています。そんな中、「自分たちが何とかしなければ。」という強い思いで、女性部等の女性組織は、食を守り、伝統食を未来の子どもたちに伝え、地域のお年寄りの介護のお手伝いをし、また、自らの生き甲斐も作りたくと積極的に活動しています。JAに於いても、「女性の活力を生かすJAの事業と組織活動」という、明確な目標を立てていますが、そのような活動を、未来を担う若い女性たちに、どのように引き継いでいけばよいのか模索しています。
- 民：民生委員の仕事の原点は、一人ひとりの人間性の尊厳、平等、公平性というものを一番に考慮して仕事をしなければなりません。男性、女性の違いはあっても、その特質をお互いに認め合いながら話し合いをして、理解と納得をしながらやってきています。かつては男性が多く、女性は少なく、女性はほとんど発言せず、役割分業の意識がありました。法律ができてからはおむつたたみなど少しずつ仕事の差別がなくなって、今では一緒に取り組んでいます。



これまでの長い歴史観から、男性上位の思考から女性が抜け出しにくい事情があった事実を踏まえたうえで、母や子の家事労働を賃金に換算してみながら家族で認め合う感覚も男女共同参画意識の啓発に大きな意味をもつとも考えられます。それは、一人ひとりが意識改革していくことが大事だと思われるからです。

Ⓐ：PTAの立場からすると、今の状況が一番やりやすいです。小学校の役員だった時は、会長は各学校とも男性でした。学校によっては会則で、男性PTA副会長が次年度PTA会長になるという決まりがある。決まっていない学校もある。市Pでは評議員会があり、各学校から、校長、PTA会長、PTA女性副会長で現在は構成されています。

Ⓑ：男性が会長と決まっていることについて異論は出ませんか。

Ⓐ：女性の会長をおいていいという話はありません。作業などは、男性も出てきますが、地区行事は女性が多いです。



## 地域における実状

Ⓑ：地域の活動は、参加するのは女性が多いですね。地域の方はどう受け止めているのでしょうか。

Ⓐ：私も、「男性のやるべきこと」という役割の意識があると思う。男性が会長で、他の役は女性ということもある。区長会の中でも、代表区長は男性を置き、女性の区長を増やしていきたいという話もある。女性の見方も大事なので、男性が後押しして女性の皆さんが出てきてくださると世の中が活性化すると思います。

また、女性の委員に対しては、男性の委員が気にかけてくれたりフォローしたりして互いに協力する、これが共同参画。そのためには、意識改革ですね。

Ⓑ：男女共同参画を進め、女性目線も取り入れて物事を考えられると改革につながると思います。男性はとかく男性目線で進めていく事が多いのですが、女性は家庭のことなど幅広く見ながら進めていきます。会議の持ち方も、全体が納得いくような会議の仕方をしています。長い男性社会を抜け出す過渡期に今はあると思います。女性の目線を各地域でも大事にしていただけるとありがたいです。

Ⓐ：女性民生委員が多くなったのはいつごろからですか。

Ⓑ：男女共同参画の方針が市から示されて3年くらいしてからですかね。今は、半数が女性、地域から女性に出てきてほしいという声が増えてきました。しかし、男性でなければできないこともあるので、うまくバランスをとりながら出来るの良いので、50:50はいいと思います。

Ⓐ：バランスの問題で、知事、市長等も女性が増えてきています。農業について考えると、農家の娘さんより都会から来た女性の方が農業に関心をもって来ています。手伝いにも積極的。農家の女性の皆さんは、過去に辛い思いをしてきているので、娘には同じ思いをさせたくないという親心もあると思います。

Ⓐ：マイスター制度、家族経営協定、農業委員等については、今、どうなっているのでしょうか。

Ⓑ：地域の食材や伝統料理、安全で安心な食品を、未来を担う子どもたちに伝えていくことはとても大切なことです。資格を持ったマイスターの皆さんは各所で大活躍されています。JAでもスクールサポート事業として、女性部が学校の授業の中で、お豆腐作りや七夕饅頭作り等に携わっています。子どもたちがそれらを学び、農作業を体験することで心豊かに成長できると思います。これまでの農家は仕事と家事の境目が曖昧で、女性の負担が重くなりがちでしたが、家族経営協定を結ぶことによって対等に役割分担され、女性も社会参加しやすくなったことは素晴らしいことだと思います。女性の持つ感性や、実生活から生まれてくる発想が、地域の中で受け入れてもらえる様に、女性が地域と繋がることは大切なことだと思います。

市側：家族経営協定を結んでいる世帯は安曇野市では113世帯、県では2858世帯です。

一同：安曇野は、多いですね。

Ⓑ：組合員の女性比率も、県全体では19.9%、JAあづみ管内では29.2%、総代の女性比率も、県平均の15.3%に対して、JAあづみ管内19.8%、一方で女性の役員になると、県平均14.3%に対して、JAあづみは12.5%となっています。組合員、総代についての比率は良いと言えます。

Ⓐ：安曇野市では、農業委員について女性枠を設けてあるようですね。

Ⓐ：これから農業委員の選出方法は、市長任命制になります。また、委員の中に消費者の枠があり、農家ではない世帯もあります。認定農業者や集落営農の枠もあり、幅広く選出されます。そうすると、女性も選出される可能性が大いにあると思います。



## 子育て支援

- 同：子育て世代として、男女共同参画について話題にしたことはありますか。
- P：私はありません。子どもを保育園に通わせているのですが、今、未満児保育の利用が多いと感じます。このことから子どもを預けて働くお母さんが多いと感じます。小学校高学年になってくると、ほとんどのお母さんが働いているため、逆にこうして家にいる私は、恥ずかしいと思ってしまいます。わが家は農業をやっているのですが、農繁期には、義父母を手伝いながら家庭を守っています。働くお母さんが増え、お父さんも育児に参加するようになったと感じますが、わが家は、昔ながらの家庭なので、夫は子どものおむつ替えや入浴をほとんどやったことはありません。一概にどちらがいいとも言えませんが。
- 同：子育てや介護をどのように誰が担うかは、男女共同参画においては重要な事です。PTAで話題にしてほしいテーマです。本当は、自分の手で子育てをしたいけれども、夫だけの収入では、生活不安や希望する保育園に入園できないという問題もあります。
- P：最寄りの保育園に入れたいが、少し遠い保育園しか空いていなかったということがありました。
- 民：家のすぐ近くに保育園があるのに、空きがなく遠い園に行くという話がありました。今の学校行事の様子を見ると、父親が参加する家庭が増えてきました。このこと自体は、素晴らしいことと思います。
- P：素晴らしいと思うのですが、わが家の夫はよく「暇だな」と言っています。しょうがないと思うようにしています。
- 民：家の中での意識改革が必要ですね。(笑い)
- 区：Pさんの旦那さんのお考え、私もわかるものがあります。(笑い) 男として言いたくなる。でも、男性が子育てに参加する風潮には感心しています。
- 同：保育園の問題は、全国的な課題になっています。両親で見守る子育ては大切ですね。

## 男女共同参画を進めるためには

- 同：今後、このような工夫をしてほしいという要望がありますか。
- 民：男女共同参画とは何だろうかというものを、子どもが学校からテーマ課題として家庭に持ち帰り、子どもを含めて、お母さん、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃんみんなで話し合っていく事が啓発としていいのではないかと考えています。
- 同：あるコミュニケーターが学校で、男女共同参画について話をした折、子どもたちの反応は「当たり前」、「家庭ではどうか」と言う問いかけに対しては「まだまだ」という返答であったといいます。子どもが話を家庭に持っていきのいいののかも知れません。
- 区：やはり、お互いに尊重し合うということが一番のことだと思います。
- 民：尊重とは、どういうことかと考えたとき、「感謝」なんですよね。
- 区：実際に間違ったときに、「ごめんな」と素直に言えることが後腐れなくてよいです。
- 同：地域の中ではどうですか。
- 区：役は輪番制や、性別による役割分担がある。地区で敬老会を行ったが、参加者のほとんどが女性で、男性は数えるほど。健康の問題や介護の話題などが多いため、男性が少ない。男女共同参画については、細かい部分は語れないが、「互いに尊敬して取り組む」という事に繋がっていく気がします。
- 同：女性の役員の参画が進むには、男性の側が感謝・尊重の気持ちを持ち、女性を一役員として認めていく姿勢でないと実現していかないと思います。
- 区：年配の方は、性別によって決めつけることが多い。今の若い男性はそういうことにはこだわらない。近年の冠婚葬祭が全般的に変わってきています。また、最近の男性は弱くなり、若い人達が自分の意見を言わなくなってきたように感じます。
- 同：私の経験の中で、地域に新しく入ってきた若者が意見を出したとき年配の方が怒って、「お前に何がわかる」と一蹴し、それで終わってしまった事がありました。
- 区：以前は、地域の年配の「長老」の意見が強かったと思います。



- 同：男性が社会を保っているという意識がある。地区にいる人は男女半々。年配の方は、若い人の意見を無視しても悪いとは思っていない。そういう社会慣習があると思います。
- 民：若いパパが組長になり、敬老会のときに一生懸命やってくれました。その子どもさんや奥さんにお会いしたときに、「あなたたちのお父さんやご主人には、敬老会で大変お世話になりました。一生懸命やって下さり、素晴らしいパパやご主人ですね。とても感謝しています」と感謝の気持ちをお伝えしました。
- 同：地域におけるコミュニケーションも、男女共同参画社会の実現に非常に大切な要素ですね。
- 一同：そうですね。

### 安曇野市への要望

- 同：男女共同参画について、市に要望することはありますか。
- 民：学校側に働きかけて、子どもが家庭に持ち帰って、家庭の意識改革を図るようになればよいと思います。また、PTAなどでも、話題にしてもらえると良いです。
- 区：区長会でも、マニュアル作りなどに取り組みたいですが、いろいろな意見もあり大変です。家庭でのコミュニケーションを促す方が手っ取り早いと思います。
- J：幅広い年齢層の女性が、それぞれの活躍の場となれる事業や組織作りに積極的に取り組んでいただきたいと思います。
- P：活動を促すためには、おじいちゃん、おばあちゃんの子育てを見守る世代にも、男女共同参画について話す機会をつくってほしいです。
- 同：男女共同参画については、今年で基本法制定以来17年目、市では第3次の計画がこれから策定されていきます。

今日の座談会で、4人の方々から男女共同参画について語られた、それぞれの思いや課題等の事々について、市民のみなさん一人ひとりが、まずそれぞれの家庭がどうなっているのか、見つめ直していただければ嬉しいです。ありがとうございました。



### 女性の活躍

終戦から71年目に当たる今年、男女共に活躍している年と感じられます。中でも女性首長をはじめ、リ

オ・オリンピックでの男女の活躍は目覚ましいものがありました。

特に女性のレスリング、バトミントン等々すばらしかったです。どれ程練習を積み重ねてきたか想像できます。そして、2020年の東京オリンピックが期待されます。この様にスポーツの中での女性の活躍は、男女の区別はつけがたく、素晴らしいところがあります。

一方、内閣府の調査によると、家庭内では夫は外で働き、妻は家庭を守るという考え方が約半々の割合になっています。大事なことは協力合って相手を思いやる気持ちです。それが男女共同参画ではないでしょうか。

職業を持つことについては、子供ができて一度勤めをやめ出産後、再就職を望む女性が60%となっています。女性の職場があるか無いか、男女共同参画に関わっている様にも思われます。一口に男女共同参画と言っても、女性をとりまく社会環境によるところが大きいと思います。

### 安曇野市男女共同参画カルタ

まだまだ少ない女性の役職者 増やしていこう 目標持つて	留守宅を 守る人へも 感謝の心	男女共同参画は まず 家庭から
-----------------------------------	-----------------------	-----------------------